

環境振動運営委員会 議事録

- A. 日 時 2011年11月29日 火曜日 17:30～19:30
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 横山主査, 他10名
- D. 提出資料(提出委員名)
- No.4-1 前回議事録案
 - No.4-2 2011年度第3回環境工学委員会資料
 - No.4-3 環境振動測定分析小委員会活動報告
 - No.4-4 環境振動評価小委員会議事録案
 - No.4-5 環境振動制御技術小委員会議事録案
 - No.4-6 環境振動広報WG議事録案
 - No.4-7 戸建て住宅の三成分振動特性測定・分析・評価WG議事録案
 - No.4-8 環境振動対策事例検討SWG
 - No.4-9 第7回居住性能評価指針検討WG(評価WT)
 - No.4-10 A Symposium on Vibration and Structural Acoustics Measurement and Analysis (ICEM15)
 - No.4-11 環境振動研究のあゆみ

E. 議事内容

O. 前回議事録確認(資料No.4-1)

- ・承認された

1. 環境工学本委員会報告(資料No.4-2-1,4-2-2, 4-2-3)

- ・2(1)a) 調査研究委員会の活性化に資する予算消化の向上策について出版の予算が25%しか消化されていない。残予算があるので消化すること。使い道が限定されているので、使いづらい。
- ・2.(2) 東日本大震災関連 第一次提言は実施された。第二次提案を求む。2012/3/1, 2にシンポジウムを実施する予定。佐土原主査, 講演希望者を募る。
- ・3.(4) 2012年度活動計画, 講習会企画, 催し物企画, 刊行企画等

2. 各小委員会・WG活動報告

2-1. 測定分析小委員会(資料No.4-3)

- ・11/15開催分について, 資料に基づく報告があった。
 - ーJR武蔵境駅沿線実測: 高架化施工前と後の比較を中心に測定及び心理評価を実施
 - ・電車振動が対象か。→ 伝搬特性の把握 委員の研究室からも応援。
 - 建物が変わっていない。高架化で構造物の剛性が上がっており, 車両が改良されている。VAL70dBで高架橋の共振で揺れる場合がある。
 - ーアンケート調査: 振動測定の問題点の抽出。アンケートの対象としては, 環境振動の測定を行っている者。委員全員に協力をお願いしたい。

2-2. 評価小委員会(資料No.4-4)

- ・11/04開催分について, 資料に基づく報告があった。
 - 評価・説明性・データベース・広域実測の4つのWTの活動は, 年度結果を小委員に「要望と提案」の形で纏め報告する。
 - ー広域実測WTは広域モニタリングWGと合同し, 「計測事例の見える化」について検討した。次年度までに計測手法のシミュレートを実施したい。ロードマップの提示,

多点同時計測による評価等.

－評価 WT は居住性能評価指針検討 WG と合同で歩行障害・動揺病等と精密作業阻害について審議した. 評価指針と設計指針の差別化など. 超高層建築物の作業場でのアンケートはどうか.

－説明性 WT は, 環境振動を表す指標, 振動数と揺れの感じ方, 長周期地震動についても拡張する.

・「人間工学ハンドブック」に、振動数の記述あり, 参考になる.

2-3. 制御技術小委員会 (鈴木, 資料 No.4-5)

・07/27, 9/14 開催分について, 資料に基づく報告があった. (前回分再掲)

－文献収集シート: 床振動の実測結果, 同解析結果

・振動制御小委員会の目的は何か. →振動制御の前段階の予測を行っている. スパン長と固有値の関係(楡田先生), 減衰定数など.

・活動が詰まったときは, 違うテーマにすることもある.

・文献検索は会の活動が停滞してしまうこともある.

・歩行振動: モデル化からアプローチしなくとも可能では.

・設計者ごとにばらばらの結果が出る. 標準が無い?何処を焦点にするのか, 共通項として何を取り出すのか, 何を求めていくのか.

・文献調査は既にデータベースがあり検索だけに着目しなくてもよい.

2-4. 広報 WG (資料 No.4-6)

－議事録の取立てが難しい.

－主査, 幹事 3 名, 年 3 会開催.

2-5. 戸建て住宅の三成分振動特性測定・分析・評価 WG (資料 No.4-7)

－データが整ってきたので, 活用の仕方を検討している. 118 棟の計測例がある. (後藤)スパンとパラメータで纏めているのか. →スパン中央の測定データが無い.

2-6. 環境振動対策事例検討 SWG (資料 No.4-8)

－対策事例集の纏めにはいつている.

－合意形成・説明性事例についての事例シートを作成中.

2-7. 居住性能評価指針検討 WG (資料 No.4-9)

－新しい文献を集める. 知覚だけでなく他の分野も集める.

・居住空間としての建物に係るものを含めて欲しい. 体感以外の要素. 阻害, 障害, 支障の表現が馴染まない. これが最適か.

3. 第 30 回環境振動シンポジウムについて

－執筆締め切り: 12/22 多くても良いが偶数ページで記述のこと.

－趣旨説明は 2 ページで.

－鉄道総研の見学の申込み状況: 現在 3 名, 動員を掛けるべきか.

－「あゆみ」の原稿 (資料 No.4-11)

4. その他

－ICEM15 の紹介 (資料 No.4-10)

－次回 2012 年 1 月 17 日 17:30~

以上